

旅とアート

佐川美術館「アートコラム」⑦

学芸員・佐川美術館
 藤井 康憲



全国旅行支援の実施や行動規制の緩和によって、旅が身近に感じられるようになってきました。旅に付きものといえば、グルメや観光が挙げられますが、私はアートを巡る旅を楽しんでいます。ご当地の美術館鑑賞だけでなく、美しい風景を見たり、写真を撮ったり、先に挙げたグルメも盛り付け方や食材の美しさにもアートを見出しています。

旅の楽しみ方は人それぞれです。スケッチブックや絵筆を持って行き、絵を描かれる方もいるはず。本コラムの「旅とアート」というテーマで思い起こされる画家として身近に感じる人物に、「放浪の画家」と称される山下清がいます。私達が思い描く山下清像は、旅先でスケッチをして作品を描き上げるイメージが定着していますが、実はこれは映画やドラマの脚色によるものです。山下清の実像は、外の世界を見たいという思いで14年間放浪の旅を続けていましたが、旅の間にはほとんど絵を描いていません。各地の風物を見て歩くことを好んだ清は、帰るたびに見てきた光景を思い出して作品を描いていました。これは、清の「瞬間的記憶能力」という特殊な能力の成せる技だったのです。

現在はスマホやデジカメで、瞬時にその景色を切り取ることができます。しかし、その瞬間の事を撮った時は覚えていますが、記憶が薄れやすくなります。皆さんも旅に出られる際、感動したものや思い出の風景を目の前に、五感を通してじっくり向き合ってみてください。旅の思い出が、今までは少し違うものになるかもしれません。

※開館情報につきましては、ホームページでご確認いただくか電話[(585)7800]でお問い合わせください。

消費生活センター情報

No.59

くらしのたより

クーリング・オフ制度について

クーリング・オフとは、消費者がいったん申し込みや契約の締結をした場合でも、頭を冷やし冷静に考え直す時間を与え、一定の期間内であれば無条件で申し込みの撤回や、契約の解除ができる制度です。主に訪問販売や電話勧誘販売などの不意打ち的な勧誘による契約などに、この制度が設けられています。

クーリング・オフの手続きは自分で行うことができます。通知は書面で行うほかに、2022年6月から電磁的記録で行うことが可能となりました。電磁的記録とは、電子メール、ウェブサイトのクーリング・オフ専用フォーム、SNS、ファクスなどを指します。なお、インターネット通販やテレビショッピングなどの通信販売は、クーリング・オフ制度はありません。返品可否や条件について特約がある場合は、特約に従うことになります。注文する前に、返品対応についての規定をよく確認する必要があります。

クーリング・オフができる取引かどうか不明なときや、通知の書き方や手続き方法が分からないときは、消費生活センターに相談しましょう。

消費生活センター(生活支援相談課内)
 ☎(582)1146 FAX(582)1138

新・クルちゃんの No.127

つぶやき



ごみを減らすために、
 詰め替え用製品を選んでね。

シャンプーや洗剤などのボトル製品には、詰め替え用製品が販売されています。ボトルに詰め替えて繰り返し使うことは、ごみの減量化や環境負荷の軽減につながります。できる限り詰め替え用製品を選び、資源を有効活用しましょう。



岡ごみ減量推進課

☎・有(584)4692

FAX(584)4818

ごみ分別
 アプリ
 配信中!



iOS版

Android版